

令和3年度全建賞受賞

「全建賞」は、(一社)全日本建設技術協会が昭和28年(1953年)に、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために創設した歴史ある賞です。

令和3年度表彰において、北海道開発局が整備を実施した、3つの港湾及び漁港事業が受賞しました。

苫小牧港複合一貫輸送ターミナル整備事業

北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧港湾事務所

この度、令和3年度全建賞として「苫小牧港複合一貫輸送ターミナル整備事業」が受賞いたしました。

本事業のうち受賞対象となった南ふ頭及び西ふ頭は、平成23年度に現地着手し、令和元年度に工事が完了しております。

今回の受賞では、老朽化したふ頭の岸壁の改良とともに背後の荷捌き地、上屋の一体的な整備により、RORO船のシャーシ輸送に係る荷役スペースをより広く確保するほか、船舶が係留していない時に車両走行の支障となる係留直柱を地下に埋設するなどの工夫により、荷役作業の効率化が図られている点が評価されました。

事業実施にあたり、調査・設計を行ったコンサルタント、工事を安全に施工した建設会社、事業実施に対してご協力いただいた施設利用者や関係者の皆さま及び国土交通省の関係各位に対しまして、御礼申し上げます。

事業箇所である苫小牧港西港区商港地区は、RORO船が国内8航路、週30便が就航し、苫小牧港発着のRORO船航路の約7割を占める幹線貨物輸送ネットワークの拠点となっています。

苫小牧港の建設当初に着手した当該施設は、建設か

ら45年以上が経過し岸壁の老朽化が進行していたことに加えて、もともと一般貨物船用として整備された施設であったため、岸壁背後に上屋が建てられエプロン幅も狭く、荷役車両の低速走行や安全確認のための誘導員の配置が必要になるなど、荷役の安全性や効率性に課題を抱えていました。また、西港区は耐震強化岸壁が未整備であり、震災発生時の物流に支障を来す恐れがありました。

このため、本事業では、商港地区の南ふ頭水深10m岸壁1バースと西ふ頭水深9m岸壁3バースを改良し、このうち西ふ頭の1バースは耐震強化岸壁として整備を行っています。また、港湾管理者と連携し、岸壁背後の既存上屋の撤去及び代替となる上屋整備などにより荷捌き地を拡張し、安全で円滑な荷役を可能とするとともに、災害時の緊急物資や幹線貨物の物流機能の確保を図りました。

苫小牧港で取り扱うRORO船の貨物量は、事業期間中も着実に増加し、整備前(平成22年)の貨物量約1,402万トンに対し、令和3年の貨物量は約1,841万トンと3割以上増加しており、本事業で整備された施設は荷役の効率化に大きな役割を果たしています。また、平成30年に発生した「北海道胆振東部地震」では、



西港区商港地区全景



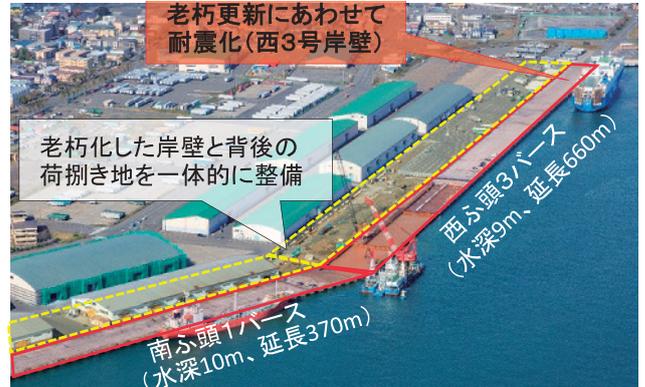
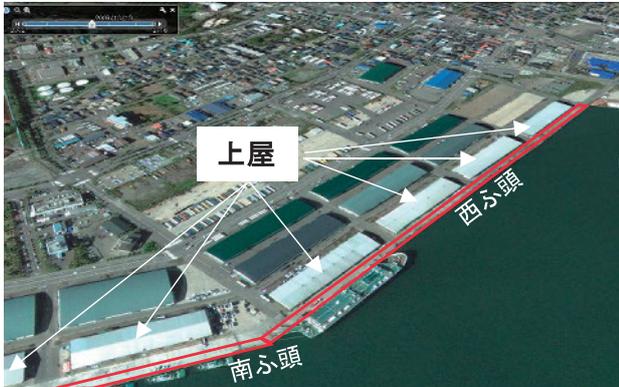
西ふ頭全景

平成 25 年に完成した西ふ頭の耐震強化岸壁は震災直後から北海道の幹線貨物輸送や災害支援活動に大きく貢献しました。

現在、苫小牧港には RORO 船のほか、フェリーやコンテナ船による定期航路が週約 115 便就航するなど、国内外の様々な貨物を取り扱っており、国内貨物

輸送量は 20 年連続日本一を誇ります。

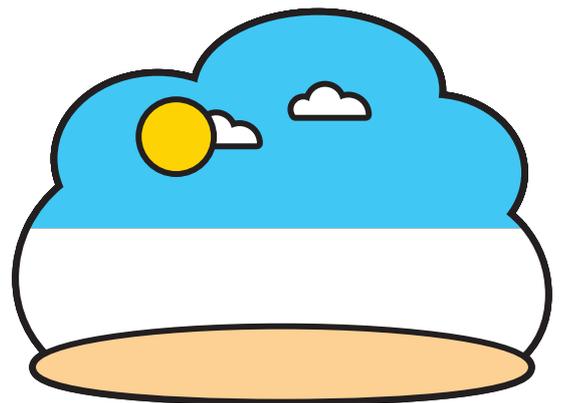
このたびの事業を契機に官民連携によるさらなる物流効率化の取組が進められ、北海道のみならず我が国の産業・経済を支える北日本最大の物流拠点として役割を果たしていくことを期待するとともに、改めて本事業に関わりご尽力いただいた方々に感謝いたします。



整備前



整備後



増毛港屋根付き岸壁事業

北海道開発局 留萌開発建設部 留萌港湾事務所

この度、令和3年度全建賞として、「増毛港屋根付き岸壁事業」が受賞いたしました。

本事業は平成27年度に整備検討を開始し、平成29年4月から現地の施工を始め、令和3年6月に工事が完了したところです。

今回の受賞では、水産品の陸揚げ作業を行うための屋根付き岸壁の整備をする際に、陸揚げから出荷まで一連の作業に必要なスペースを考慮するなど利用面を配慮した設計を行っており、今までスペースを確保するために進んでいた陸揚げ設備の設置・撤去作業が解消されたことで陸揚げ作業の効率化が図られるとともに、屋根により異物混入や鮮度低下が防止されることで、水産品の付加価値向上に資する成果が明確に現れている点が評価されました。

事業実施にあたり、業務を受注して検討を行ったコンサルタント、工事を受注して安全に施工を行った建設会社、事業実施に対してご協力いただいた漁業関係者をはじめとする施設利用者や関係者の方々及び国土交通省の関係各位に対しまして、御礼申し上げます。

増毛港は、北海道留萌管内南部の日本海側に位置し、

増毛町が管理する地方港湾であり、ホタテガイや甘エビ、タコ、サケ等の沿岸漁業基地として、水産加工業と連携した地域経済活動が営まれ、地域の生活や産業を支える重要な役割を担っています。また、増毛港の中央ふ頭の岸壁(-4.5m)では、エビ桁漁業、カレイ刺網、タコ漁業等に利用されており、冬季における利用船舶への風雪による影響軽減及び陸上作業環境の改善を目的に防風雪施設が平成14年に完成しました。更に、平成26年に完成した北ふ頭の物揚場(-3.0m)の屋根付施設にて陸揚げされた養殖ホタテガイ(活貝)等が、中国・韓国などに輸出され、地域の水産業の活発化に寄与していました。

増毛港の船入潤物揚場(-2.5m)では、サケ定置網漁業の準備・陸揚げ作業がこれまで行われていましたが、整備後45年以上が経過し、老朽化の進行が著しかったこと、背後用地が狭く、非効率な水産活動となっていたこと、野天での作業で直射日光や降雨による品質・鮮度低下、鳥糞等の異物混入など衛生管理面が課題となっていたことから、屋根付き岸壁の整備が望まれました。



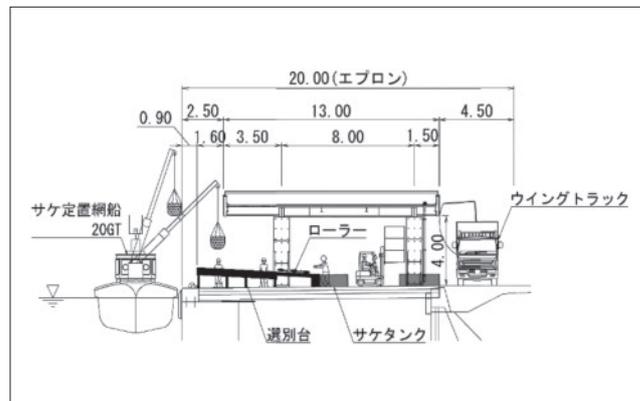
屋根施設整備箇所

このため増毛町は、水産物の輸出促進を進めるために、平成 29 年度に増毛港農水産物輸出促進計画の承認を受け、地元利用者による衛生管理マニュアルの策定及び製氷貯氷施設の建設、滅菌海水装置の導入等の整備を進めました。

また、直轄事業の物揚場の改良は、新たに策定された衛生管理マニュアルを踏まえ、サケの陸揚げ、岸壁上での選別、荷捌所への出荷用タンク移動等、屋根下での動線やゾーニングを踏まえた屋根施設の規模を設定するとともに、構造形式は屋根下での見通しの良さ、メンテナンス時における経済性も考慮して鉄骨造を採用し、屋根付き岸壁の整備を実施しました。

屋根付き岸壁の整備後における現地調査の結果から、日射量が半減されるとともに、一定程度の鮮度(魚体温度、硬直指数)保持効果と、氷の使用量の減少による経費削減効果が確認できました。また、降雨・風塵の侵入や鳥の糞、鳥がサケの目玉を食べる等の鳥獣被害が無くなり、サケの品質や単価向上が期待されます。

本事業において整備された、屋根付き岸壁、製氷施設や滅菌海水装置を増毛港衛生管理マニュアルに基づいて活用することにより、水産物の付加価値を向上させ、さらなる輸出促進がされることを期待するとともに、改めて本事業に関わりご尽力いただいた方々に感謝いたします。



標準断面図・施設利用想定図



事業完了後の施設利用状況(全景)



屋根施設利用状況

直轄特定漁港漁場整備事業(厚岸地区)厚岸漁港衛生管理施設の整備

北海道開発局 釧路開発建設部 釧路港湾事務所

この度、「特定漁港漁場整備事業(厚岸地区)厚岸漁港衛生管理施設の整備」が、令和3年度全建賞に選ばれました。本事業は、屋根付き岸壁や清浄海水導入施設の整備により、大規模なサンマの産地での抜本的な衛生管理対策が図られたこと、その波及効果や影響範囲の大きな点が評価されました。

厚岸漁港は北海道東南部に位置し、沖合漁業を中心に多種多様な漁業が営まれ、特にサンマ漁においては、流通拠点として大きな役割を担っています。

しかし、当漁港で水産物の陸揚げ作業が行われていた湖北地区の岸壁および背後施設は老朽化が進んでいるほか、衛生面や狭隘化が課題となっていました。

そこで、陸揚げから出荷までを効率的に行うスペースを確保するため、広く用地を確保できる湖南地区第2埠頭に機能を移転させるとともに、人工地盤の整備により駐車場を確保し、狭隘化を解消することにしました。

岸壁には延長403m、幅35mの屋根施設を整備し、陸揚げから出荷まで、降雨、鳥糞、直射日光の影響を受けずに漁獲物を管理できるようにし、鮮度管理を目

的とした清浄海水導入施設の整備等により、総合的な衛生管理対策の推進を図りました。

あわせて、総合的な衛生管理対策の推進を図るため、厚岸漁業協同組合による衛生管理型荷捌所の整備と連携し、令和2年8月より供用を開始しました。

これらの整備により、旧施設では混雑し事故に注意し時間を要していた荷揚げから搬出までの作業が、移転後の新たな衛生管理施設では、それぞれの作業動線が整理され、作業が輻輳せず効率的に行うことができたことから、作業密度の低減による事故発生確率は約5分の1、作業時間は30分ほど短縮されるなど大きな効果が出ています。

また、取水した海水は、清浄海水(ろ過、殺菌、冷却)、電解殺菌水(次亜塩素酸水)、原水に分類し、それぞれ鮮度保持、漁具洗浄、蓄養、活魚水槽、岸壁・荷捌所洗浄に利用しています。

これら衛生管理施設の整備により、水産物の付加価値を向上させ、国民への安全・安心な安定供給が図られることを期待するとともに、本事業の実施にあたり、既設岸壁構造を活用するなどの構造的な制約や短期間



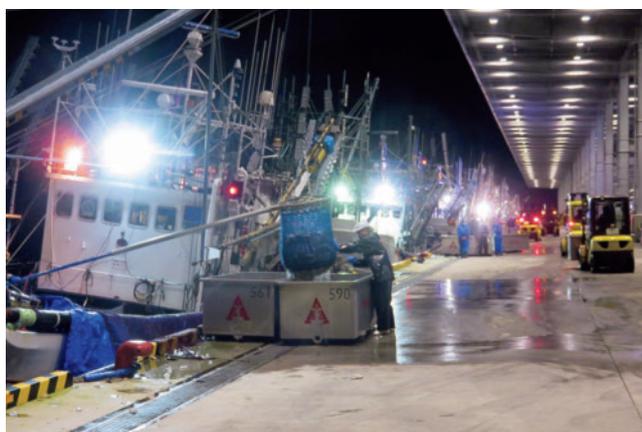
衛生管理施設全景

に多数の工事が輻輳する時間的、物理的制約が多い中、
本整備の計画、調査設計、施工に携わられた多数の担

当者の皆様、各種調整に協力いただいた地元関係者の
皆様に改めて御礼申し上げます。



屋根施設全景



サンマ陸揚状況



サンマ仮置き状況

